

# 平成 30 年度 第 4 回あま市公共施設等 総合管理計画策定委員会 議事要旨

平成 31 年 2 月 4 日 (月)  
午前 9 時 30 分から正午まで  
本庁舎 3 階 特別会議室

## 1 出席者等

出席者等 (委 員)	11 名
(事務局)	6 名
(傍聴者)	4 名

## 2 議 題

### 【あま市公共施設再配置計画（素案）のパブリックコメントの結果について】

(説明要旨)

○昨年(平成 30 年)の 12 月 19 日から 1 月 17 日までの 30 日間行ったパブリックコメントで出た各意見について市の考え方を記載し、実際に案を修正したものについて説明。

### 【主な質疑等】

(委員)

○意見番号 13 で、福祉作業所がⅠ期からⅡ期にずれたのは、考える時間ができて良かった。トップダウンの計画でなく、意見を聞いてもらって、少し変わったところもある。アンケートを取るという話があって、施設の選択は結婚と同じくらいの選択になるので、相手のことも分からないと決められない。今後、各作業所で説明会もあると聞いているが、良くなる方向で進めていって欲しい。

(事務局)

○各作業所で説明会を行い、アンケート結果や市の考えを説明していきたい。

(委員)

○パブコメに関して、表現が分かりづらいという意見があった。意見が出てきていないのは、意見が無いのではなく、意味を分かっていない可能性が高い。50 年と言わず、ずっときめ細やかな説明をお願いしたい。

(事務局)

○説明会などを開いて、丁寧に対応していく。

(委員)

- 子育て支援センターについての意見は、その通りに思う。少しずつ理解を得ながら、統合を進めてもらいたい。身近にあることや地域の情報交換の場としても重要なので、学校の中に入れるなど、地域が関わっていけると良い。

(事務局)

- この計画の中では、一つに統合としているが、今後、社会情勢等の変化によって新しい意見が出てくることもあると思うので検討していきたい。

## 【あま市公共施設再配置計画（案）について】

(説明要旨)

- 前回の委員会を踏まえ、昨年12月19日から1月17日までの30日間行ったパブリックコメントや12月16日に開催したフォーラム等で出た意見等を反映し修正した計画案について説明。

## 【主な質疑等】

(委員)

- 宝小と秋竹小の統合については、小中一貫校を含めた見直しを検討すると記載しているが、来年度には長寿命化計画を立てなくてはならないため、秋竹小の「統合」を「(統合)」にして、宝小学校をⅡ期に「(統合)」、七宝北中学校をⅡ期に統合、改修に変更して、地区別の再配置の図も七宝中と七宝北中を入れ替えて、小中一貫校の表現に変更したい。小規模校については、小中一貫も含めて出していった方が理解を得られやすいと考えている。第Ⅰ期に学校への複合化をすることについても、平成31年度から学校、福祉、企画で勉強会を含めて進めていきたい。Ⅰ期の中で方向性を出したいし、できることはやっていきたい。

(委員)

- 小中一貫校の仕組みがよく分かっていないが、宝小、秋竹小の機能は、無くなるということか。

(委員)

- そういうことである。

(座長)

- 小学校同士の統廃合の場合、無くなる方が受け入れ難いということがあるが、中学校という一つの塊の中で一つにするのであれば、理解が得られやすいという考えか。

(委員)

○確実に2/3ということでは無いが、延床面積をかなり縮減できると考えている。

(座長)

○方法論がかなりシャープになるため、それ以外を選択しにくくなる。確実に実現できるのであれば良いが、他の可能性の許容がなくなる。どうしても進めていくということならば、書ききってしまうことも良い。

(委員)

○秋竹小と宝小の統合に労力を費やすよりも、そちらの方が良い。

(座長)

○第3回の委員会以降にパブコメやフォーラムもあり、市民の方の御意見も聞きながらやってきているので、意見があれば、修正すべきと考えているが、他の意見はあるか。

(委員)

○第4回で意見が出ることはおかしくない。委員の意見を聞いて、そのような案もあるのかと思った。秋竹小の方が綺麗だと思うので、宝小に統合するのは、違和感があった。愛知県内に事例は少ないかもしれないが、滋賀県で見たことがある。

(委員)

○タイミングは余り問題ない。日々、考え方は変わっていくので、最後まで意見を出し合って変わるのでは問題ないのではないか。

(会長)

○事務方の立場とすれば、パブコメ後に出すのは抵抗がある。丁寧に説明しないと、パブコメが何だったのかということになる。

フォーラムで意見が出て、教育委員会の中でコンセンサスが得られて、こういった意見が出された。

(委員)

○学区の親御さんや地域の反応は、何らかの形であったのか。これまで秋竹小を宝小にくっつけるということで進んできたが、地域の意見を最優先にしないと、北中学校に持っていくというのは飛躍しすぎているのではないか。教育委員会だけで決めたか。

(委員)

○何故、秋竹小が宝小に統合なのかという意見もあった。秋竹小の理解を得ることは難しいと考えている。宝小と秋竹小の2段階ということも考えられる。10年後ということ想定しているが、2校を1校にするのではなく、小中一貫という新しい制度で、3校を1校にする方が教育委員会としては進めやすい。適正規模を考えると、小規模校を2つ維持していくのは、負担になっているのは間違いない。小中一貫の方が受け入れやすいと思う。決まったということでは無いが、再配置計画の中で示した方が進めやすいのではないかとということで、出させてもらった。

(座長)

○全く正反対の話ではなく、統合の枠組みの中の一つの手法のため、範疇に入っている内容として問題ないとする。より合意の得られやすい記述に変えていくということは良いのではないかと。

(委員)

○50ページで小中一貫校という記述もしてもらったが、48ページで第Ⅱ期に黒字ではっきりと書いてしまうのは、抵抗感がある。

(座長)

○事務局はどうか。

(事務局)

○小中一貫ということも決まっていることならば、はっきりと書くべきだが、小中一貫という方法もあれば、秋竹小と宝小の統合もあり得るのではないかとということであったので、このような表記とさせていただいた。

(会長)

○教育委員会としては、コミュニティを崩すから難しいということだが、今後、検討することならば、小中一貫校ありきでは齟齬が出る。含みを持たせた表現を決めていくことで良い。各委員の意見を聞きながら、表現を改めるということが良いのではないかと。

(事務局)

○甚目寺のプールの表記を変えたが、パブコメの段階から変わっているが、現に執行中ということで変更した。当然、パブコメを重視しており、委員の意見をないがしろにするという意味ではないが、市民から意見をもらうことは重要と考えている。教育委員会の方向性として、重要性があるということで、座長や上とも考えて、お願いしたい。

(座長)

○委員どうか。

(委員)

○秋竹小学校を宝小学校に統合というのは、話が一人歩きする危険がある。統合ありきで進んでいく危険性が高い。

(座長)

○48 ページの表のところにも小中一貫ということも注釈に入れる。図の方で矢印を決まっていなかったことを書くのはいかがかということで、確実性が無いのであれば、取るということでどうか。

(事務局)

○事務局の意図としても秋竹小と宝小を統合するということではなく、様々な可能性も含めて検討しているということであるが、案としては秋竹小を図の上の空いているスペースに移動して、統合という矢印を下に向けて、小中学校が並んでいる方向に矢印を向けるということでどうか。他の可能性もあるという含みを持たせて表現することでどうか。

(委員)

○秋竹小だけが無くなるという印象を受ける。

(委員)

○委員は、以前にここでの意見は、そのまま鵜呑みにせず、教育委員会に持ち帰り、議論するという話もあったが、どうか。教育委員会の方が情報は持っているので、ここでの結論が決定ではないということが分かる書き方をすることが大事ではないか。

(座長)

○図は、矢印を取るということで良いか。表の方は、統合と書いたところに注釈を入れるということで良いか。

(委員)

○表記を括弧で囲むなど、小中一貫の方向は示したい。これまでに3校は連携もしているため、制度上、一つのところに小学校を持ってきて、将来的に構想としては進めていきたいということを示していきたい。

(座長)

○全体を読むと小中一貫ということは分かると思うので、表は変えないということでどうか。今の段階では、限定しすぎないということで良いのではないか。

(委員)

○整合性が取れなくなるのではないか。

(会長)

○計画なのに決まっていないという雰囲気を作ってしまう。表記しづらいということであれば、ダブルで示すということもあり得る。

(委員)

○宝小、七宝北中もⅠ期には改修せずに、Ⅱ期で統合、改修を括弧で囲んではどうか。

(委員)

○期を揃えるのには賛成である。作業所もⅡ期に揃えることで、スムーズに進められることになった。充実するというのであれば、親御さんも納得されるのではないか。

(委員)

○70 ページの図も委員が言われたように変えるのはどうか。

(会長)

○平成 33 年から教育委員会として違うルールを敷いていく見込みであるにも関わらず、今それを決めつけて示すことには抵抗感がある。  
パブコメは重視していくべきではあるが、それを守ることによってリスクがあるということなら、変えていくこともあり得る。

(座長)

○パブコメを行っているが、どれだけ住民の意見を反映しているかというところもあるが、直すのであれば、最小限とすべきと考える。

(事務局)

○秋竹小だけが統合して解体されるという印象を受ける。表の下に注釈を付けることで、秋竹小だけが対象ではないと分かってもらえる。秋竹小の統合先は、あえて書いていない。

(座長)

○時期を揃えるという意見はどうか。

(事務局)

○改修は大規模改修の時期を示すが、建設後 40 年を目途にということで第Ⅰ期に入れているが、Ⅱ期にずらすことは可能である。

(座長)

- 図の宝小学校にある統合の矢印を無くす。宝小学校と七宝北中学校の改修時期をⅡ期にずらす。表の統合と書いたところの下に注釈を付けるということで良いか。

(事務局)

- 表については、入れさせていただいて、70 ページについては、どのようにさせていただくのが良いか。図としては、秋竹小だけじゃないという印象を受けないようにする。

(座長)

- 矢印は取るとして、七宝中学校と七宝北中学校は入れ替える。他はどうするか。

(会長)

- 適正規模に配慮と注釈があるが、これは小学校だけにかかるのか、中学校にもかかるのか、ここに小中一貫校も含むということを書くか。枠も破線にするのか、実線にするのか。

(座長)

- 案を示さないと難しいのではないかと。最終回になるため、書面会議ということで、たたき台を事務局で作っていただき、期限を切って意見をもらうということが良いか。

(委員)

- 3校にアスタリスクを付けて、小中一貫校も検討という注釈にしてはどうか。

(事務局)

- それで縛ってしまうのはどうか。

(委員)

- 統合するは良いが、どこに行くか分からない。

(座長)

- 上位計画では、あまり縛らない方が良いということもある。

(委員)

- 最低限、統合にアスタリスクを付けてもらうことで良い。

(委員)

- 決め付けると良くないが、時期をずらすとなると、安全性は保てるか、更新も10年遅れてくるのではないかと。

(事務局)

○改修時期がずれても、更新時期はずらさないことで考えている。

(委員)

○改修と書いてしまうと、逆に統合しないと言っているように思えてしまうため、改修にもアスタリスクを付けてはどうか。

(委員)

○宝小と秋竹小は統合・解体、七宝中学校は統合・改修でどうか。

(座長)

○改修にアスタリスクを付けることとする。

(会長)

○秋竹小が七宝中に行くということは無いか。

(委員)

○それは考えていない。これまでも三位一体で進めてきている。

(委員)

○2年間委員として発言をさせていただいた。そして、事務局にはたくさんの内容の修正をいただいた。

説明会は、一回目は事務局から開いてもらったが、その後は、こちらから要望して開いてもらっている。今後は、計画のターニングポイントがあれば、市から説明会を開いて欲しい。

(委員)

○上下水道施設は対象外ということで、グレーの枠になっているが、凡例が無いため、必要ではないか。

(事務局)

○計画の対象外のため、削除するか、凡例を付けるか決めたい。

(委員)

○市議会への報告はどうなるか。

(事務局)

○3月末に完成し、他の計画と同様に4月中旬に各議員にお渡しする予定である。



## 【その他について】

(事務局)

○今年度の委員会は、今回が最後となるため、座長、会長から一言お願いしたい。

(座長)

○あま市は熱心に取り組んでいる。皆さんが熱心だと、私も熱心にならざるを得ない。色々と経験させていただいて、感謝している。上位計画として、中身に個別計画を詰めていく必要がある。良いプランができたと思う。

(会長)

○最終回で活発なご議論をいただいた。分からない部分が言葉としてある。コアとなる職員以外も誰でも答えられるように活字として残さないといけない。共通の認識を持つことが責務だと思う。色々な意見も出ると思うが、ご協力をお願いしたい。

(事務局)

○書面会議へのご協力をお願いします。